

阪神7市1町の 公立幼稚園・保育所 施設の状況について

西宮市		尼崎市		芦屋市		宝塚市		伊丹市		三田市		猪名川町		川西市			
●公立幼稚園について(H26年5月1日の状況)																	
公立幼稚園数		20園(1園休園中)		18園		9園		12園		16園		10園		4園		9園	
	定員数	在園児数	定員数	在園児数	定員数	在園児数	定員数	在園児数	定員数	在園児数	定員数	在園児数	定員数	在園児数	定員数	在園児数	
3歳児	-	-	-	-	-	-	20	8	-	-	-	-	-	-	50	46	
4歳児	600	556	630	537	1,610	350	630	465	720	575	390	162	180	98	630	241	
5歳児	1,400	735	1,670	624	-	374	770	510	805	603	455	167	210	109	690	303	
4・5歳児混合学級	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	140	38	-	-	-	-	
合計	2,000	1,291	2,300	1,161	1,610	724	1,420	983	1,525	1,178	985	367	390	207	1,370	590	
充足率	65%		50.5%		45%		69%		77.2%		37.3%		53%		43%		
耐震・老朽化対策の必要な園数		0園		12園		1園		2園		0園		10園		0園		5園	

●公立保育所について (H26年4月1日の状況)																	
公立保育所数		23園		25園		6園		8園		8園		1園		1園		8園	
	定員数	在園児数	定員数	在園児数	定員数	在園児数	定員数	在園児数	定員数	在園児数	定員数	在園児数	定員数	在園児数	定員数	在園児数	
0歳児	126	154	1,970	48	18	17	63	60	73	38	10	4	6	3	24	16	
1・2歳児	680	842		649	130	133	243	274	205	292	40	39	24	30	186	181	
3～5歳児	1,454	1,549		1,182	332	334	534	524	602	615	70	76	60	70	390	421	
合計	2,260	2,545	1,970	1,879	480	484	840	858	880	945	120	119	90	103	600	618	
充足率	113%		95.4%		101%		102%		107%		99%		114%		103%		
耐震・老朽化対策の必要な園数		13園		18園		0園		耐震工事済み		3園		0園		0園		4園	

※耐震改修促進法の対象外であるため診断未実施であることから建築の年度で判断

●公立認定こども園について(H26年4月1日の状況)																	
公立認定こども園数		無し		無し		無し		1園		1園		無し		無し		無し	
	定員数	在園児数	定員数	在園児数	定員数	在園児数	定員数	在園児数	内保育の必要な子ども数	定員数	在園児数	内保育の必要な子ども数	定員数	在園児数	定員数	在園児数	
0歳児	-	-	-	-	-	-	3	1	1	10	7	7	-	-	-	-	
1・2歳児	-	-	-	-	-	-	10	10	10	34	22	22	-	-	-	-	
3～5歳児	-	-	-	-	-	-	17	16	16	156	133	61	-	-	-	-	
合計	-	-	-	-	-	-	30	27	27	200	162	90	-	-	-	-	
充足率	-		-		-		90%			81%			-		-		
耐震・老朽化対策の必要な園数		-		-		-		0園		0園		-		-		-	

●公立幼稚園・保育所の耐震・老朽化対策等の施設面の課題の対応方針についてご記入ください。	○公立幼稚園 平成25年度で完了している。 ○公立保育所 耐震補強工事が必要な園については、補強工事と併せて大規模改修工事を実施する。 その他の園の老朽化対策については、小規模な修繕工事等は所管課で行い、外壁や空調など大規模な工事は、公共施設を対象とした中長期修繕計画に基づき予算配分され、工事を実施している。	○公立幼稚園 市立幼稚園の耐震化未実施園12園のうち、5園は平成27年度末に廃止するため耐震化は実施しない。残り7園中、4園は平成27年度に耐震化工事を予定している。残りの3園については一定の条件下で暫定的に存続させる園としており、耐震化の判断は平成27年度中に行う。また、良好な教育環境の整備を目的に、空調設備の設置について庁内調整を図る。 ○公立保育所 公立保育所は全所とも耐震改修促進法の対象となっていないことから耐震診断を行っていないが、今後、施設の安全面から耐震診断を順次実施していくことを検討している。	保全計画に基づき、建替及び改修を実施しています。	老朽化対策が必要である保育所はあるが対策は現在検討中です。	○公立幼稚園 耐震化については、平成25年度に100%達成しました。老朽化対策については、各園共老朽化が進んでおり、大規模改修を計画的に進めたいところですが、今後の公立幼稚園の適正規模・適正配置について不確定要素が多い現状においては、各園施設の状況を鑑みながら修繕対応を行っているところです。 ○公立保育所 耐震基準を満たしていない保育所(1箇所)については、平成26年度から平成27年度で整備を行い、老朽化2箇所については、今後整備を検討予定。	・耐震改修については、全園が新耐震基準を満たすように対応済。 ・老朽化対策については、緊急度、必要度に応じてその都度対応しているところであるが、経年劣化による損耗が激しい建物については、大規模改修が今後必要になると考えている。	-	-
--	---	--	--------------------------	-------------------------------	--	--	---	---

●貴市・町における、公立幼稚園の定員割れ等の課題があれば、その対応方針についてご記入ください。	公立幼稚園については、4歳児の応募が3年連続で定員を下回った場合に休級・休園する規定を設け、園を適正配置する予定である。 しかし、単年で応募が急激に少なくなった場合に、園としてどのように存続させるか。また、近接する2園が同時に3年連続で定員を下回った場合に市民の理解を得ながらどのように休級・休園を進めていくかなど課題が残る。	市立幼稚園では、1年1クラスしかいない園が大半を占め、一部の園で4歳児が定員を満たさない状態が恒常化し、4歳児の入園応募者数が募集総定員を下回っている課題があったことから、市立幼稚園の教育内容の充実と効果・効率的な運営体制を確立するため、園の集約を含む「尼崎市立幼稚園教育振興プログラム」を平成24年8月に策定した。	-	学級数を減らし、定員を縮小する。現在、廃園も含む、適正配置について検討中。	平成25年8月から平成26年5月に開かれた学校教育審議会(諮問内容「公立幼稚園の教育・保育のあり方について」、答申内容「公立幼稚園の適正規模・適正配置について」)の答申内容を踏まえて、今後、市の基本計画を策定予定です。	-	-
---	--	--	---	---------------------------------------	---	---	---

●これまでに、廃園、合併、民営化等を実施した園

園名	新甲東保育園	安井保育園	高田幼稚園外5園	開明保育所外19所	浜風幼稚園	山本南保育園	長尾台・末広幼稚園
時期	平成13年4月	平成15年5月	平成7年度末～8年度末	平成10年度～平成26年度	平成28年度末	平成20年4月	昭和63年
幼稚園/保育所	保育所	保育所	幼稚園	保育所	幼稚園	保育所	幼稚園
廃園・合併・民営化等の対応方法	民営化	民営化	廃園	民間移管	廃園(民間の認定こども園を設置予定)	民営化	昭和63年から休園、平成8年廃園
						美座・光明幼稚園	中山桜台幼稚園
						平成2年	平成7年
						幼稚園	幼稚園
						平成2年廃園	平成7年から休園、平成8年廃園
						宝塚第一・売布・高司	逆瀬台幼稚園
						平成6年	平成4年
						幼稚園	幼稚園
						平成6年から休園、平成8年廃園	平成4年から休園、平成6年廃園

無	無	無	桜が丘幼稚園	栄保育所
			平成4年度末	平成21年度末
			幼稚園	保育所
			廃園	廃園
			ふたば幼稚園	
			平成23年度末	
			幼稚園	
			統合	